

## 令和4年度の授業開始に向けて

本学は、令和4年4月からは次のとおり対面授業(面接授業)を行うこととします。なお、新型コロナウイルス感染症の危険性がなくなったわけではありませんので、今後の大学生活については、長期にわたって感染対策のための「新しい生活様式」を取り入れて、ひとりひとりが十分に気をつけて過ごしてください。

### 1. 対面授業の開始

令和4年4月7日(木)から、大学で対面授業を開始します。

### 2. 対面授業開始後の感染防止の対応と取組

4月1日(金)のオリエンテーションからは、密閉・密集・密接の状態(3密)が重なるのを防ぐため、次の対応や取組を行いますので、協力してください。

#### (1) 通学に関する対応と取組

- ① 電車やバス等を利用する学生のみなさんはマスクを着用し、社会的距離が確保できるよう混雑する時間帯を避けるなどして、時間に余裕をもって行動してください。
- ② 大垣駅から本学までのバス利用では、過密を避けるため、朝の時間帯の1台あたりの乗車学生数を制限する場があります。(※バス乗車にあたっては、本学職員が乗車の案内や指示を行う場合がありますので、これに従ってください。)

#### (3) 教室などの施設使用に関する対応と取組

- ① 授業の使用教室などについて、予定されていたところから、適切な規模のところに変更となる場合があります。
- ② 教室などの使用では、座席の間を空ける、前後を開けるなど、施設に応じて適切な位置に着席してください。
- ③ 使用する教室などでは、状況や活動に応じて、窓などを開放状態としたり、30分に1回以上換気を行ったりしてください。

#### (4) 昼食時の対応と取組

- ① カフェテリアの食事スペースは、食堂及び売店での昼食購入者の専用とします。  
【昼食購入者専用利用時間 12:10~13:00(※水曜日は12:10~12:50)の間】
- ② カフェテリア(食堂)における購入時の行列や、食事スペースが過密になることを防ぐため、お弁当を持参することを薦めます。
- ③ みずぎサロンとともに一般教室を含めた施設を開放しますので、分散して昼食をとってください。

#### (5) 一般的な対応と取組

- ① 学内でも、手指の消毒と手洗いを励行し、原則としてマスクの着用をお願いします。
- ② 体調の管理に十分留意し、体調不良の場合には、令和4年3月1日付『新型コロナウイルス感染症への対応について』(本学ホームページや掲示板にあります)に基づいて、連絡や行動をしてください。
- ③ 同居している方に感染者などが出た場合についても、上の『新型コロナウイルス感染症への対応について』に基づいて、連絡や行動をしてください。

### 3. 長期的な健康観察の実施

対面授業の開始に向けて、新型コロナウイルス感染症対策のために、当分のあいだ、「健康観察・行動記録シート」に記入していただきます。既に本学ホームページと学生ポータルに、毎日の健康観察を確実に行ってもらうよう依頼をしていますので、引き続きご協力をお願いします。

#### 4. 学外における生活での留意事項

生活全般において感染リスクに備え、学外での生活においても、次の事項に留意して感染症の予防に努め、各自また、各家庭で注意喚起を行ってください。

- (1) 毎日の検温・健康観察を行ってください。
- (2) 手洗いや咳エチケットを徹底してください。
- (3) クラスター発生のリスクを下げるための3原則(密閉・密集・密接の状態を防ぐ)を遵守してください。
- (4) 感染リスクが高まる5つの場面(①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり)には、じゅうぶん気をつけてください。
- (5) 十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事・換気を励行してください。

以上

#### 【参考】基本的な感染症対策

手洗い(登校時や昼食前、体育等の実技・実習・演習科目の後、外出後、トイレ使用後に教室へ入る際など)、咳エチケット(マスクの着用)を遵守するなど、以下を参考にしてください。(出典:厚生労働省HP)



## 感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

#### ① 手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの指：爪は短く切っておきましょう。時計や指輪は外しておきましょう。

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをなじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

#### ② 咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や駅、学校など人が集まるところでは



マスクを着用する(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

何もしずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でかさえる

#### 正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかけ
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う



首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省

詳しい情報はこちら


厚労省 検索



## 感染リスクが高まる「5つの場面」


#### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲みや肴などの共用が感染のリスクを高める。




#### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり雑音が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。




#### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をするなどで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、巨カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



#### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



#### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の遣いや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

